

## 2. 調査

### 2.1 調査概要

八塔寺川ダムの本体コンクリート打設は昭和 60 年 10 月に開始されたが、昭和 61 年 8 月に 12BL、13BL の下流フーチング部でひび割れが発見された。以来、ひび割れの目視観察を継続しながら、昭和 62 年 6 月に本体コンクリートの打設を完了した。ひび割れ発生状況一覧表を表 2.1 に示す。その後、昭和 63 年 8 月～9 月にひび割れ総点検を実施して補修方針を決定し、同年 10 月に補修工事を実施した。引き続き、同年 11 月より試験湛水を開始し、平成元年 6 月に無事完了した。特に、下流フーチング部のひび割れは、ブロック全長に及び基礎岩盤に達するものであったため、基本三角形断面の一体化を目標として、エポキシ樹脂の注入を実施し接着面に所要の強度を確保することが出来た。

表 2.1 ひび割れ発生状況一覧表

ひびわれ箇所	確認日	ひび割れ形状	ひびわれ幅	3BL	4BL	5BL	6BL	7BL	8BL	9BL	10BL	11BL	12BL	13BL	計
堤体上流面	S.61.10.24	垂直	0.08～0.15	—	7.5	12.8	9.8	16.5	—	17.0	—	—	—	—	63.6m
	S.63.9.1	水平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
堤体下流面	S.61.10.24	垂直	0.06～0.40	—	7.7	13.4	18.8	34.0	15.3	16.2	25.0	10.2	13.4	—	154.0
	S.63.9.1	水平	0.10～2.00	—	15.0	15.0	45.0	30.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	195.0
下流フーチング部	S.61.8.8	—	0.20～1.00	5.0	15.0	15.0	15.0	—	—	—	—	—	8.0	25.9	83.9
	S.63.9.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通廊部	S.61.8.8	—	0.50～0.80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32.5	32.5
	S.63.9.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	5.0 <sup>m</sup>	45.2	56.2	88.6	80.5	30.3	48.2	40.0	25.2	36.4	73.4	529.0 <sup>m</sup>

### 2.2 調査内容

調査内容は以下のとおりである。

- ① 目視観察
- ② 調査ボーリング

### 2.3 調査結果

#### (1) 目視観察

昭和 61 年 8 月のひび割れ発見から昭和 63 年 9 月の総合点検に至まで、合計 8 回の目視調査を実施した。実施時は水を散布して入念に観察を行った。ひび割れの発生状況を図 2.1～4 にしめす。